

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道180号 <small>そうじゃ いちのみや</small> 総社・一宮バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自： <small>おかやま</small> 岡山県岡山市北区 <small>きた</small> 櫛津 至： <small>おかやま</small> 岡山県総社市 <small>いじりの</small> 井尻野	延長	15.9 km		
事業概要					
<p>一般国道180号は、<small>おかやま</small> 岡山市から <small>まつえ</small> 松江市へ至る延長約170kmの主要幹線道路である。 <small>そうじゃ いちのみや</small> 総社・一宮バイパスは、<small>おかやま</small> 岡山市北西部・<small>そうじゃ</small> 総社市における一般国道180号の混雑緩和・交通安全の確保および沿線環境の改善等を目的とした、延長15.9kmの道路である。</p>					
S48年度事業化	S63年度都市計画決定	H元年度用地着手	H元年度工事着手		
全体事業費	約530億円	事業進捗率 (H26年3月末時点)	32%	供用済延長	3.4 km
計画交通量	14,700~35,300 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (3便益) (事業全体) 2.5 (残事業) 5.1	総費用 (残事業)/事業全体 273 / 554 億円 事業費 : 228/495億円 維持管理費 : 45/ 59億円	総便益 (残事業)/事業全体 1,387/1,405億円 走行時間短縮便益 : 1,148/1,165億円 走行費用減少便益 : 160/159億円 交通事故減少便益 : 79/ 81億円	基準年 平成26年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量変動 : B/C=2.2~2.9(交通量±10%) (残事業) B/C=4.3~5.8(交通量±10%) 事業費変動 : B/C=2.4~2.6(事業費±10%) B/C=4.7~5.5(事業費±10%) 事業期間変動 : B/C=2.3~2.8(事業期間±20%) B/C=4.7~5.5(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が見込まれる【63,383千人時間/年⇒61,154千人時間/年(3.5%削減)】 ・混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 【岡山市北区吉備津地区 : 12.3km/h⇒29.6km/h】 【岡山市北区高松原古才地区 : 17.2km/h⇒28.5km/h】 ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【岡山駅-稲荷山・芳賀佐山団地北】 ・高梁市から岡山駅(新幹線駅)へのアクセスが向上【高梁市~岡山駅 : 83分⇒61分】 ・高梁市から岡山空港(第三種空港)へのアクセスが向上【高梁市~岡山空港 : 81分⇒55分】 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総社市から岡山港(重要港湾)へのアクセスが向上【総社市~岡山港 : 65分⇒47分】 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上【総社市~岡山市 : 59分⇒41分】 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉備路・備中国分寺(H25年間観光入込み客数約48万人)、総社・宝福寺(H25年間観光入込み客数約22万人)へのアクセスが向上 <p>⑤安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間において、安全性の向上が期待できる。 【井尻野交差点 : 532.5件/億台キロ 等】 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県の第1次緊急輸送道路に指定(国道180号) ・緊急輸送道路である国道180号が通行止めになった場合の代替路線を形成する。 <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出削減量が約11千t/年【2,253千t/年⇒2,241千t/年】 <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出量が約38t/年削減(約0.7%)削減【5,597t/年⇒5,559t/年】 ・SPM排出量が約2t/年削減(約0.8%)削減【292t/年⇒290t/年】 <p>⑨環境への影響を考慮した結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約11千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【5.0億円※】 <p>※ 供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)</p>					

関係する地方公共団体等の意見

総社・一宮バイパスの整備により、交通流動の多い総社岡山間の渋滞緩和、交通安全の確保及び沿道環境の改善が期待されており、岡山市をはじめとする関係4市の首長等で構成される一般国道180号岡山県整備促進期成会より早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

継続するとの対応方針（原案）については異存ありません。
交通渋滞の緩和や事故の減少や安全な歩行空間の形成、高速 IC アクセス改善による物流支援等にも資する道路であることから、本事業の早期完成を強く求める。

岡山市長の意見：

異議ありません。
なお、広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。特に、岡山市北区櫛津から山陽自動車道接続までの区間について、事業促進による早期供用を要望します。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

近年、総社市への企業進出が相次いでおり、地域の雇用が増加している。
総社・一宮バイパス沿線に中四国、近畿の広範囲をカバーする中国地方最大級の物流倉庫が完成。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成26年3月末時点で用地買収は43%完了しており、現在までに岡山市北区福崎～総社市総社までの3.4kmが開通している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成27年度に岡山市北区櫛津～岡山市北区一宮山崎間の暫定2車線開通を予定している。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

一般国道180号 そうじゃ いちのみや 総社・一宮バイパス

事業再評価

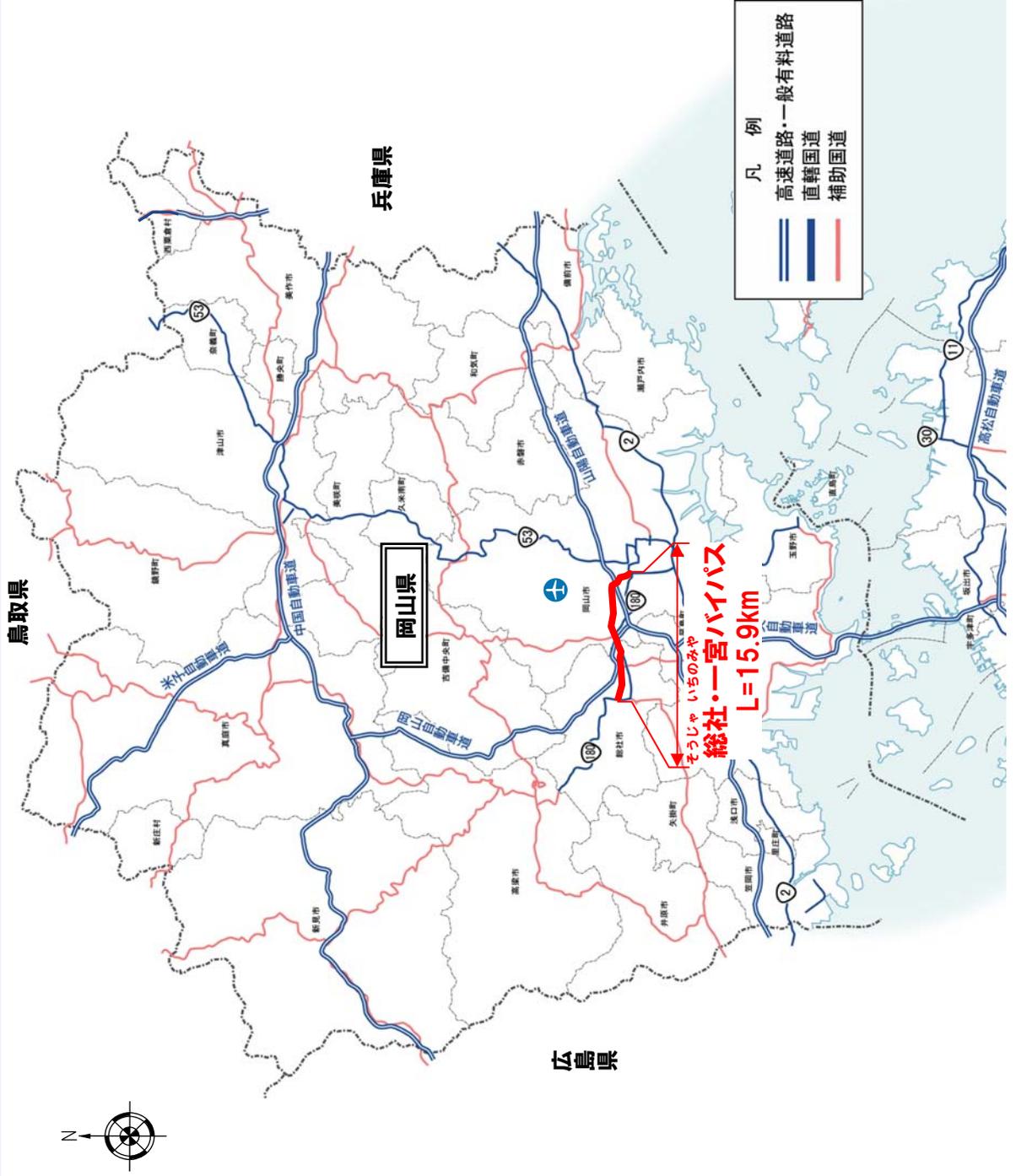
平成26年10月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

一般国道180号 総社・一宮バイパス

- 一般国道180号は、岡山県岡山市北区から鳥根県松江市に至る延長約170kmの主要幹線道路である。
- 総社・一宮バイパスは、岡山県岡山市北区から岡山県総社市を結ぶ延長15.9kmのバイパスである。



2. 事業概要及び経緯

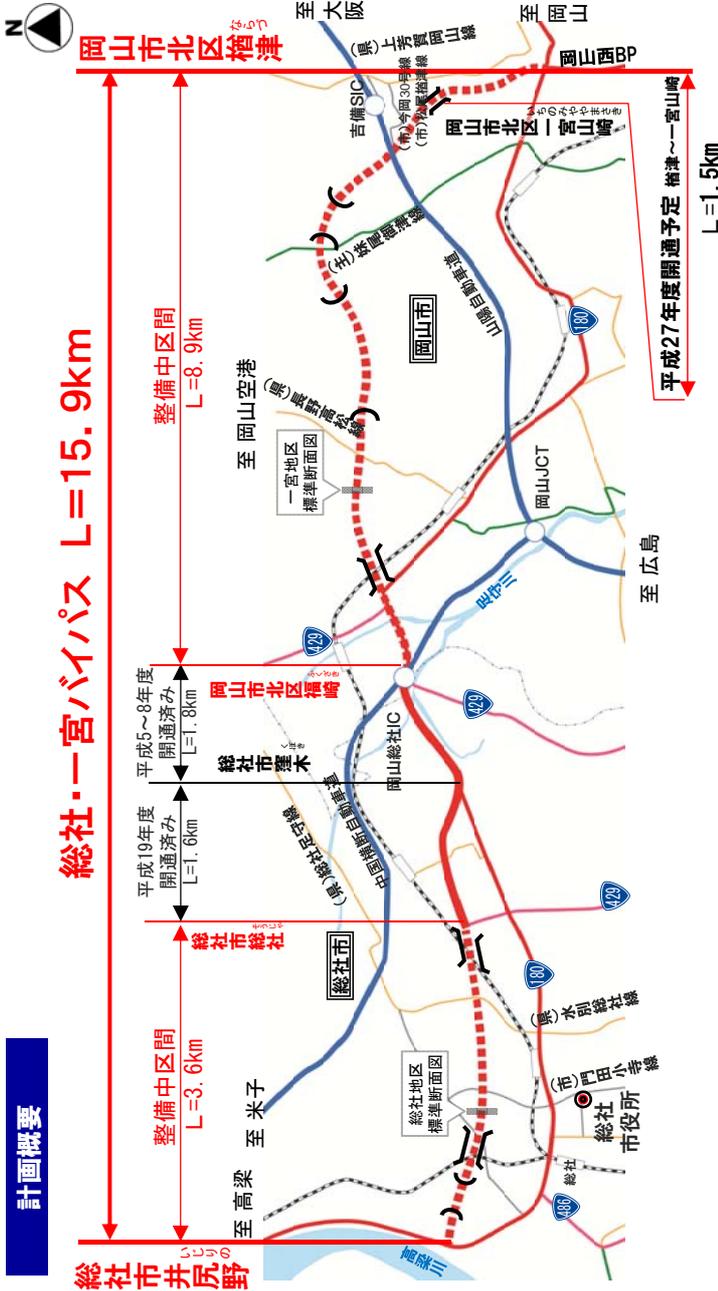
一般国道180号 総社・一宮バイパス

(1) 事業概要

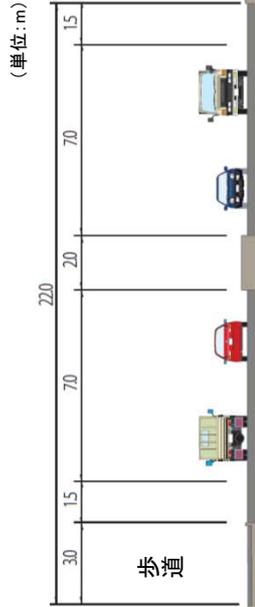
総社・一宮バイパスは、一般国道180号の岡山市北区榎津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長15.9kmの道路である。

計画概要

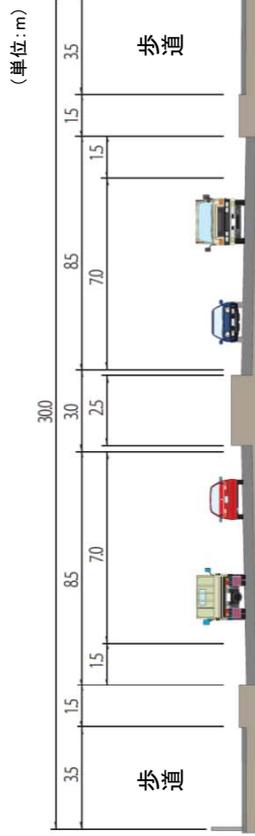
起 終 点	起点：岡山県岡山市北区榎津 おかもやまほんがたかおかしあましあまななつづ おかもやまほんがたかおかしあましあまななつづ
計画延長	終点：岡山県総社市井尻野 L=15.9 km
道路規格	3種1級 4種1級 3種2級
設計速度	60 km/h
車 線 数	4車線



標準断面図



一宮地区 土工部

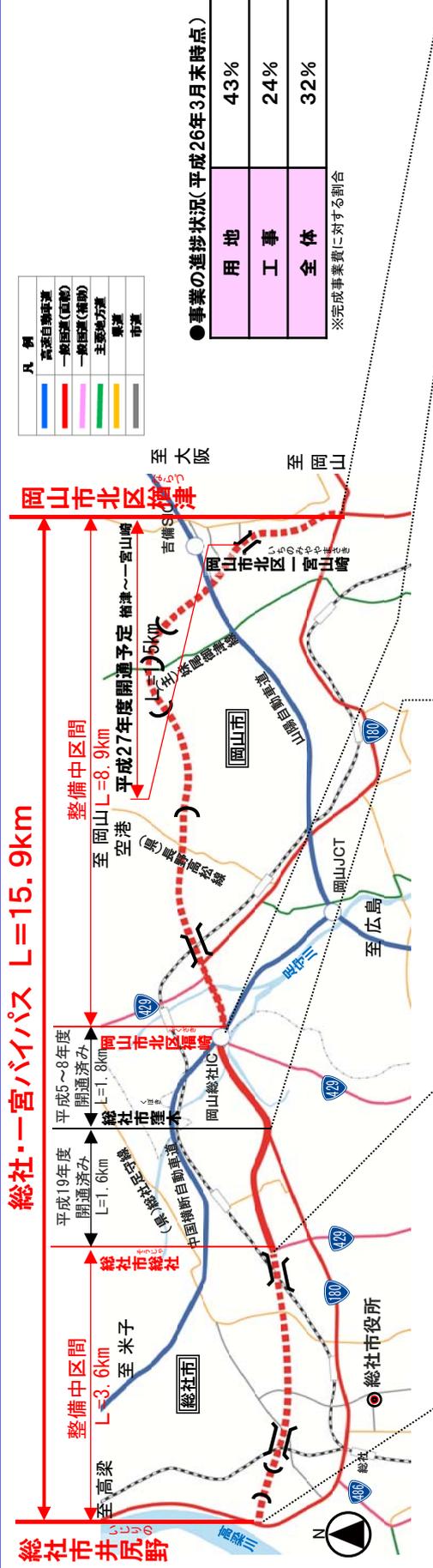


2. 事業概要及び経緯

一般国道180号 総社・一宮バイパス

(2) 事業経緯と進捗状況

- ・昭和63年度に都市計画決定し、平成5年度以降岡山市北区福崎～総社市総社間が順次、4車線で開通している。
- ・現在は、岡山市北区榎津～北区福崎、総社市総社～総社市井尻野の調査設計・用地買収および工事を推進している。



凡例	区間
■	高速自動車道
■	一般国道(直轄)
■	一般国道(委託)
■	主要地方道
■	県道
■	市道

●事業の進捗状況(平成26年3月末時点)

用地	43%
工事	24%
全体	32%

※完成事業費に対する割合

事業経緯	総社市井尻野～総社市総社	総社市総社～総社市窪木	総社市窪木～岡山市北区福崎	岡山市北区福崎～岡山市北区榎津
昭和48年度				
昭和63年度		都市計画決定(S63.8.30)		
平成元年度		用地着手		
平成2年度				
平成3年度				
平成5年度～平成8年度				総社市長良(H5.9.14 4/4車供用) 総社市長良～岡山市北区門前(H6.3.31 4/4車供用) 総社市窪木～総社市長良(H8.4.1 4/4車供用)
平成10年度		用地着手		
平成15年度			中国地方整備局事業評価監視委員会にて再評価を実施	
平成16年度		工事着手		
平成19年度		総社市総社～総社市窪木(H20.3.22 4/4車供用)		
平成20年度			中国地方整備局事業評価監視委員会にて再評価を実施	
平成21年度				用地着手
平成22年度		用地着手(総社～小寺)		
平成23年度			中国地方整備局事業評価監視委員会にて再評価を実施	
平成24年度		工事着手(総社～小寺)		工事着手

3. 前回評価時からの主な周辺環境の変化

一般国道180号 総社・一宮バイパス

- ・近年、総社市への企業進出が相次いでおり、地域の雇用が増加している。
- ・総社・一宮バイパス沿線に中四国、近畿の広範囲をカバーする中国地方最大級の物流倉庫が完成。



【写真①】岡山市北区檜津から吉備SASマートIC方面を望む



【写真②】総社市総社上空から岡山市方面を望む

GLP総社 H25.3物流倉庫完成 (中四国最大級)

企業進出の理由

- ・広島、神戸、四国、山陰に2時間〜程度でアクセス可能であり、西日本の中心に位置するため広域配送拠点としては優れ、地震の発生確率や規模などのBCP面でも日本で随一の安定性を誇るため。
- ・岡山市内でも30〜40分程度と中心地までの距離も近く、物流適地と判断。 資料：H26年度ヒアリング結果

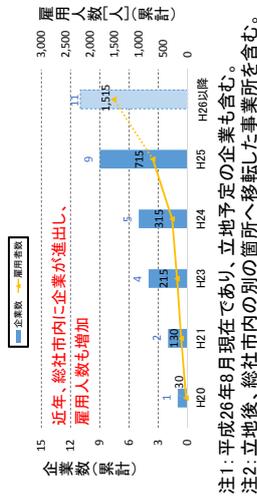


面積	敷地面積：約33,000m ² 常温倉庫：延べ床面積約78,000m ²
特徴	各フロアに大型トラックが直接乗り入れ可能 免震構造：地震の揺れを4分の1程度に軽減 冠水対策：水害から変電設備を保護する設計を採用 電源対策：停電時に全館のセキュリティ機能を確保するバックアップ電源を導入

出典：グローバル・ロジスティック・プロパティーズ (GLP) 株式会社HP

H20年以降の進出企業

● 総社市への進出企業数と新規雇用者数

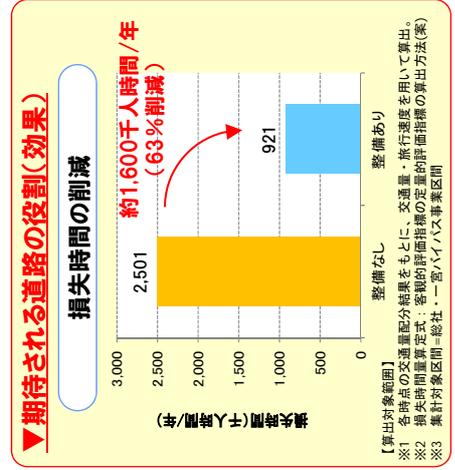
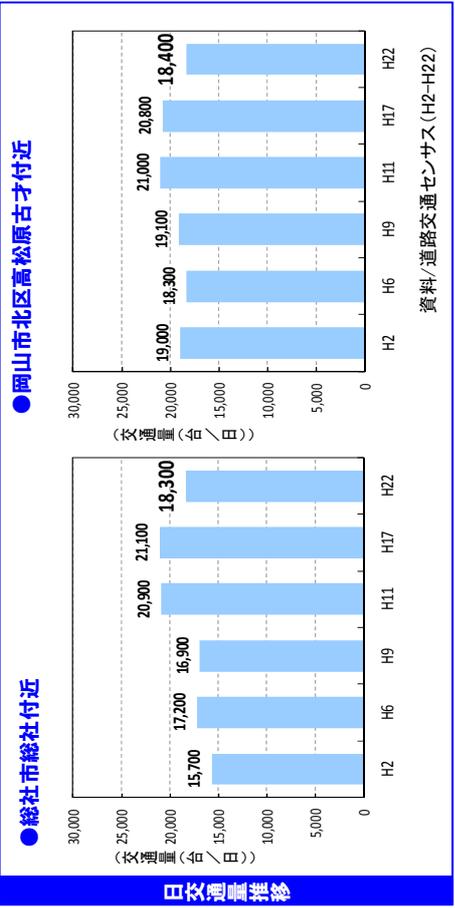
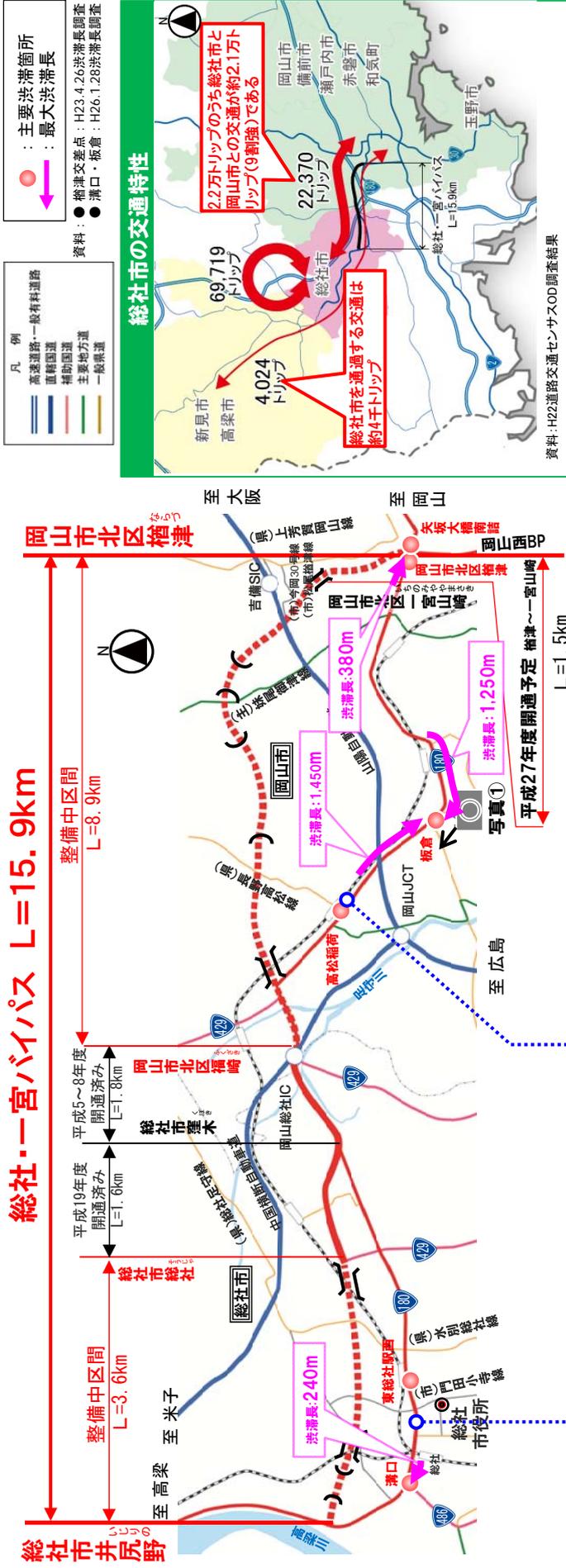


4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道180号 総社・一宮バイパス

課題①-1 国道180号で発生する交通渋滞

- ・国道180号の交通量は2万台/日前後で推移している。
- ・国道180号は、総社市～岡山市間を結ぶ主要路線であるが、幅員が狭く、ピーク時に発生している渋滞が円滑な移動の妨げとなっている。

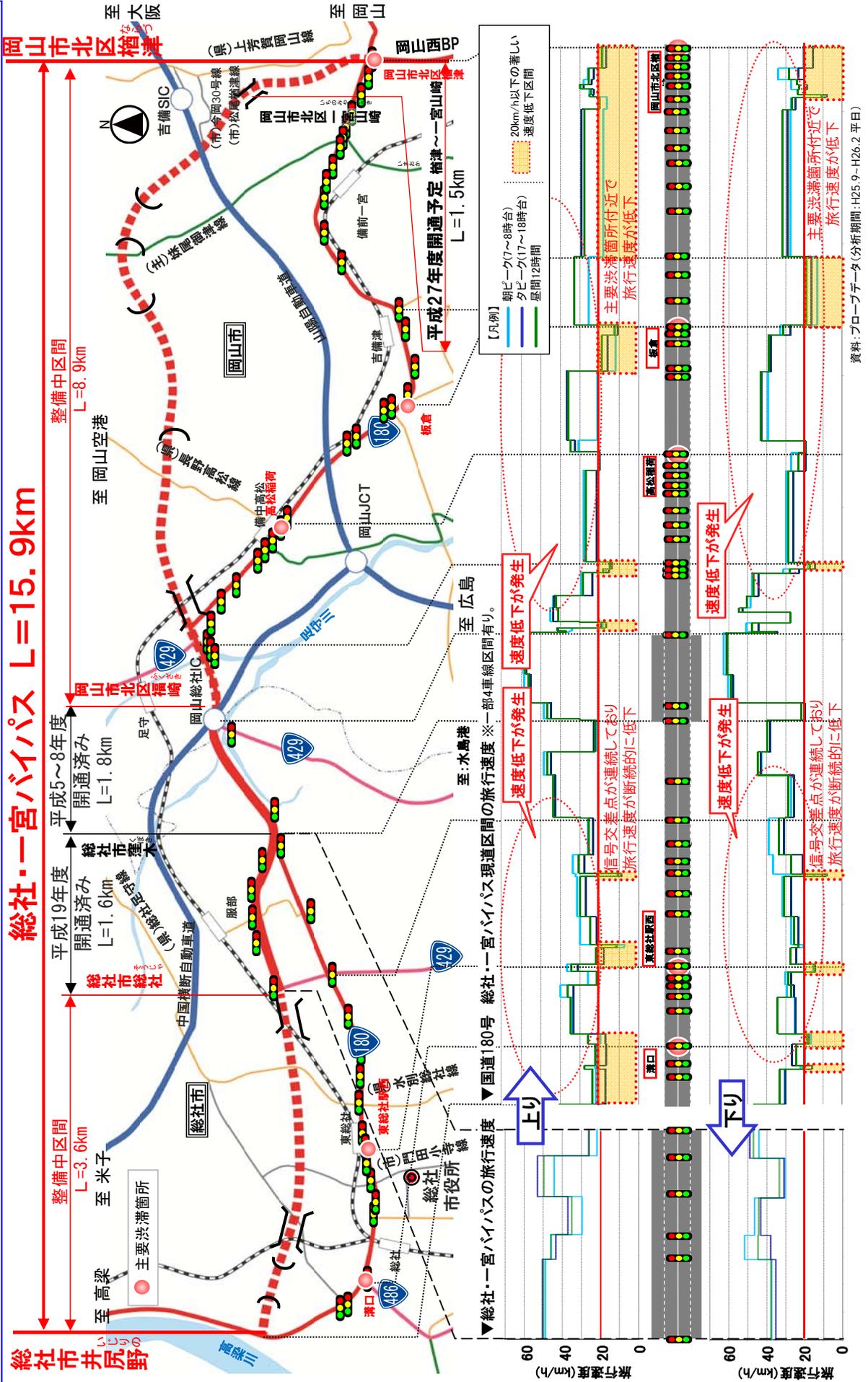


4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道180号 総社・一宮バイパス

課題①-2 国道180号で発生する交通渋滞

- 国道180号の岡山市北区榎津～総社市井尻野は、信号交差点が連続し、速度低下が断続的に発生している。
- 総社・一宮バイパスの整備により、渋滞の緩和、円滑な移動が期待される。

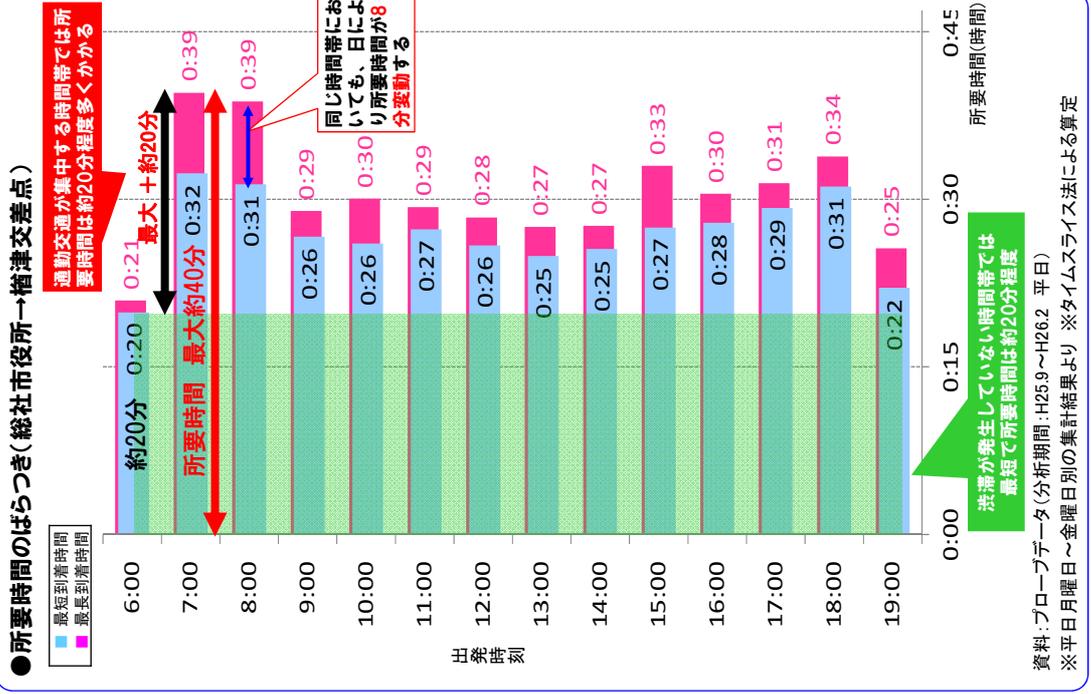


4. 地域から期待される道路の役割(効果)

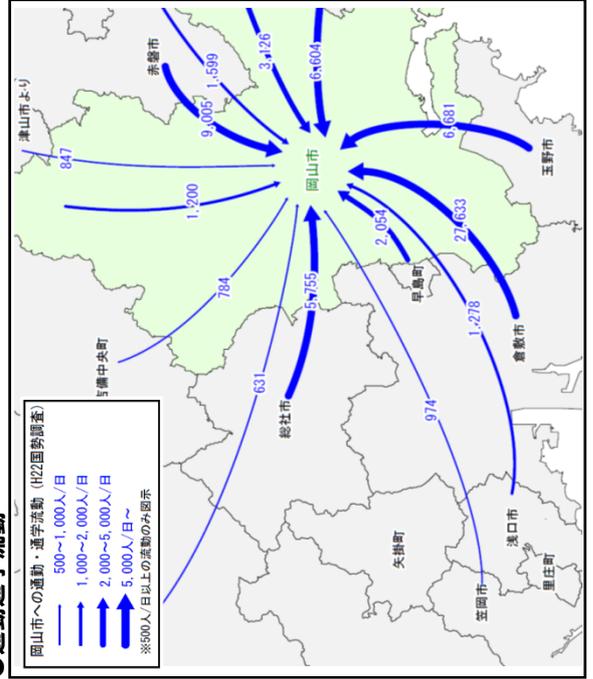
一般国道180号 総社・一宮バイパス

課題② 所要時間のばらつき

- 総社市役所から岡山市方面(榑津交差点)への所要時間は、渋滞していない時間と比較し、出発時間によっては最大約20分多くかかる。
- 同じ出発時間帯であっても日により所要時間が異なり、通勤時間である8時台においては約8分(31分～39分)変動する。
- 総社・一宮バイパスの整備により、各時間帯での日による所要時間のばらつきが縮小することが期待される。



● 通勤通学流動

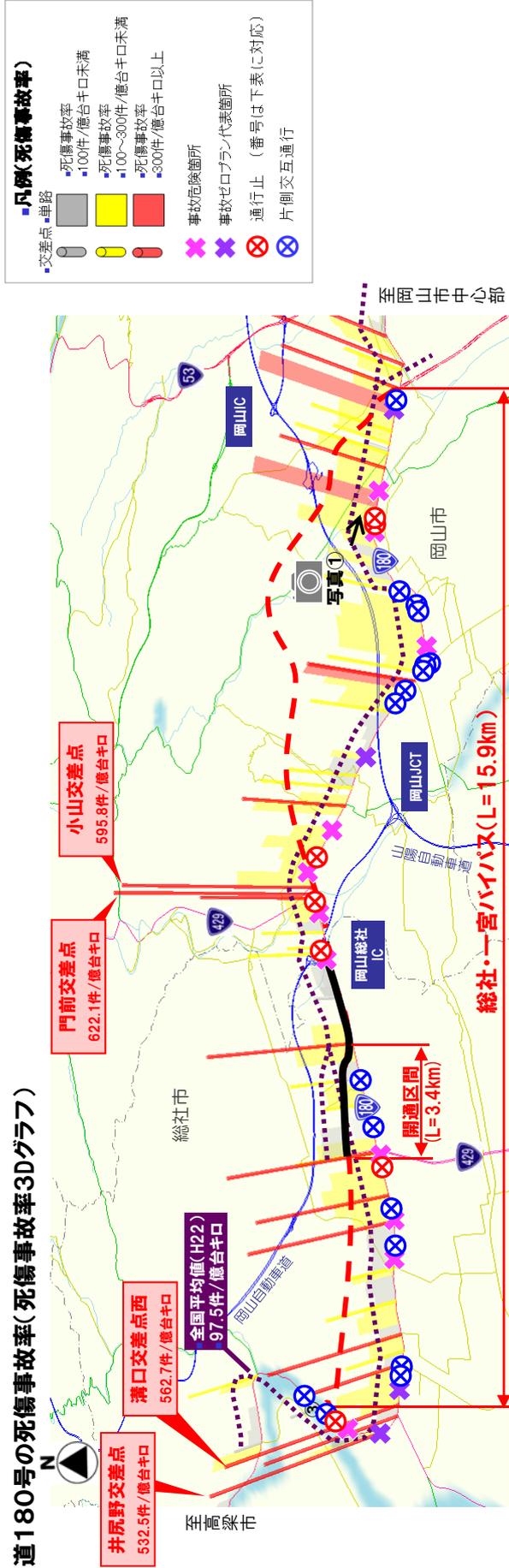


4. 地域から期待される道路の役割(効果)

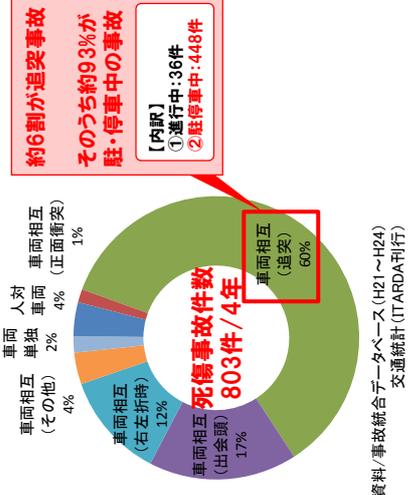
課題③ 国道180号で発生する交通事故

- ・バイパス未開通区間の現道部では、死傷事故率が全国平均を上回っている箇所が多い。
- ・片道一車線で幅員が狭い現道部では、交通事故による通行止・片側交互通行がH22年以降で24件発生(H26年8月末時点)し、規制時間は通行止めで平均54分、片側交互通行で平均77分である。
- ・**総社・一宮バイパスの整備により、死傷事故件数や通行止、片側交互通行の発生回数の削減が期待される。**

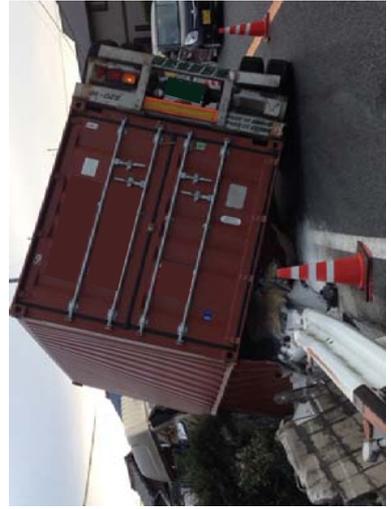
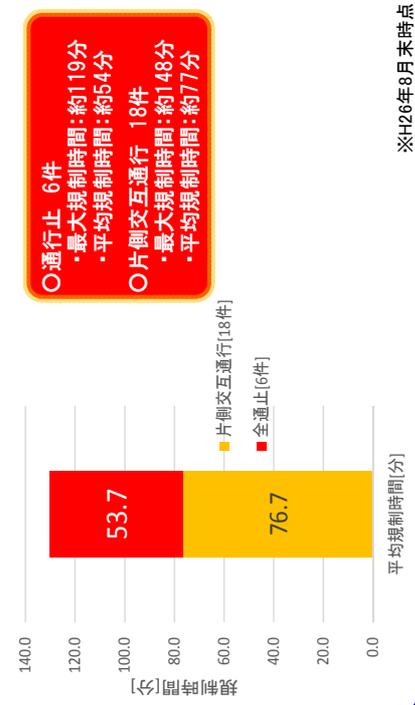
●国道180号の死傷事故率(死傷事故率3Dグラフ)



●国道180号(岡山市北区榎津～総社市井尻野)の類型別死傷事故



●国道180号(岡山市北区榎津～総社市井尻野)の通行止及び片側交互通行の発生状況

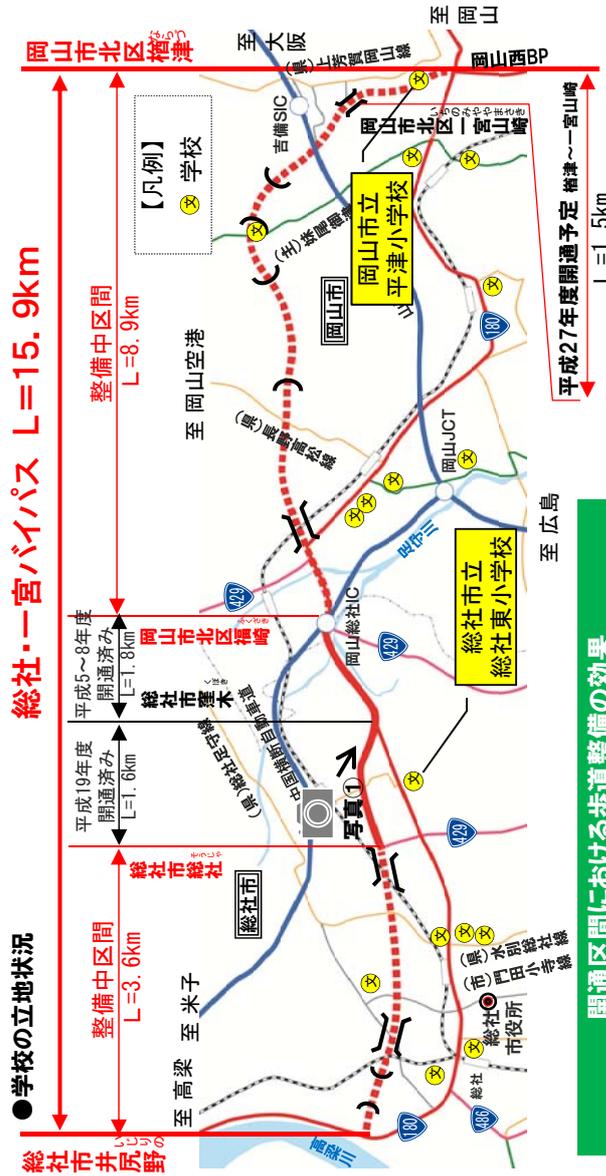


写真① 大型車事故の状況(岡山市北区西幸川地先)

4. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題④ 通学時間帯における歩行空間の危険性

- 総社・一宮バイパスの開通区間は、歩道橋・ゆとりある歩行空間が整備されたことで、安全性が実感されている。
- 総社・一宮バイパスの整備により周辺道路の交通が転換することで、安全性向上が期待され、安全・安心な通学路としての利用が期待される。

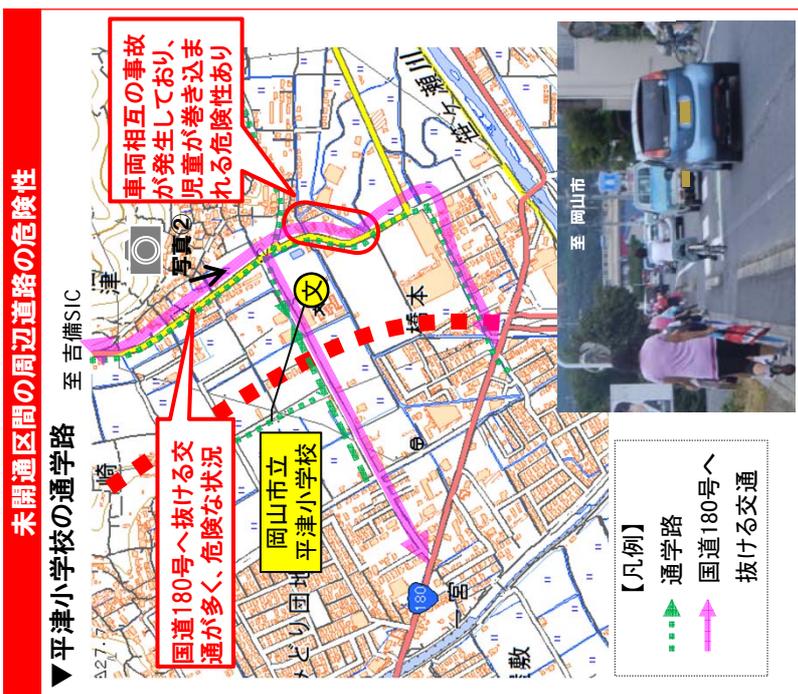


小学校の声

◆ 総社市立総社東小学校 (※開通済み区間周辺に位置)

- 総社・一宮バイパスの開通前は、国道180号の現道の交通が多かったが部分開通により現道の交通が少なくなりました。今後バイパスが繋がることにより交通が減ると思います。
- 総社・一宮バイパスは、歩道橋とゆとりある歩行空間が整備されているため、児童の安全な通学が確保されています。

資料：H26年度ヒアリング結果



小学校の声

◆ 岡山市立平津小学校 (※未開通区間周辺に位置)

- 学校周辺の道路は、国道180号へ抜ける交通が多く、車両相互の事故が発生しているため、児童の巻き込み事故等、危険性があり不安な状況です。

資料：H26年度ヒアリング結果

5. 事業の効果

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

▶ 3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
費用 (C)	554	273
事業費	495	228
維持管理費	59	45
便益額 (B)	1,405	1,387
走行時間短縮便益	1,165	1,148
走行経費減少便益	159	160
交通事故減少便益	81	79
費用対効果	2.5	5.1

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に關する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に關する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

▶ 道路の役割

▼道路の役割 (+α)

- ①環境への影響を考慮した効果[約11千トン/年のCO2削減]【5.0億円】※
総社・一宮バイパス整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
- ②沿道環境の改善 [NOX排出量：約38トン/年 (0.7%) 削減、SPM排出量：約2トン/年 (0.8%) 削減]
- ③当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出
④物流効率化の支援[例] 総社市～岡山港までの所要時間短縮約18分 (65分→47分)]

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

計画交通量	総事業費	総費用 (C)	3 便益 (B)	その他の便益	費用対効果 (B/C) () 内は残事業B/C
14,700~35,300台/日	530億円	554億円	1,405億円	+α	2.5 (5.1) +α

※基準年：H26年

6. 今後の対応方針(原案)

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇総社市への企業進出がH20年度以降相次いでおり、雇用、人口の増加につながっている。
- ◇国道180号では、慢性的な交通混雑や事故が発生している。

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)=2.5 (事業全体) 5.1(残事業)

◇道路の役割

①環境への影響を考慮した効果[約11千トン/年のCO2削減]【5.0億円】※

総社・一宮バイパス整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定

②沿道環境の改善[NOx排出量：約38トン/年(0.7%)削減、SPM排出量：約2トン/年(0.8%)削減]

当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出

③物流効率化の支援[例] 総社市～岡山港までの所要時間短縮約18分(65分→47分)]

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

3) 事業の進捗状況

- ◇平成26年3月末時点で用地買収は43%が完了しており、現在までに岡山市北区門前～総社市総社までの3.4kmが開通している。

②事業の進捗見込み

- ◇投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成27年度に岡山市北区榎津～一宮山崎間の暫定2車線開通を予定している。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 県・市への意見照会結果

◇岡山県知事の意見：

継続するとの対応方針(原案)については異存ありません。

交通渋滞の緩和や事故の減少や安全な歩行空間の形成、高速ICアクセス改善による物流支援等にも資する道路であることから、本事業の早期完成を強く求める。

◇岡山市長の意見：

異議ありません。

なお、広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。特に、岡山市北区榎津から山陽自動車道接続までの区間

について、事業促進による早期供用を要望します。

【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

◆前回評価時との比較

	前回評価時 (平成23年)	今回評価時 (平成26年)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=15.9km	L=15.9km	-
計画交通量	15,600～44,500台/日	14,700～35,300台/日	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された 第二段階の改善を反映 ・ネットワーク設定の見直し
総事業費	約530億円	約530億円	-
総費用 (C)	508億円	554億円	・基準年の変更
総便益 (B)	1,418億円	1,405億円	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された 第二段階の改善を反映 ・基準年の変更
費用対効果 (B/C)	2.8	2.5	・総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道180号 総社・一宮バイパス
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道180号 総社・一宮バイパス
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指 標	指標チェックの根拠
事業の必要性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 2.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 851億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 7.6%) 採事業：費用便益比 (B/C) = 5.1 (経済的純現在価値 (B-C) = 1,114億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 21.8%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載、効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティ の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 ■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上は踏切道の除却もしくは交通改善が期待される ■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する ■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180t積積青高海上コンテナ輸送車が運行できない区間を解消する □ 都市再生プロジェクトを支援する事業である 	<p>区間 (費用便益分析対象区間) について 対象区間 (総社地区) : 63,389千人・時間/年 対象区間 (新幹線) : 63,389千人・時間/年 対象区間 (第一種空港) : 2,229千人・時間/年 (63,383千人・時間/年⇒61,154千人・時間/年) 対象区間 (第二種空港) : 2,229千人・時間/年 (63,383千人・時間/年⇒61,154千人・時間/年) 対象区間 (第三種空港) : 2,229千人・時間/年 (63,383千人・時間/年⇒61,154千人・時間/年) 対象区間 (並行区間等) : 2,229千人・時間/年 (63,383千人・時間/年⇒61,154千人・時間/年) 対象区間 (並行区間等) : 2,229千人・時間/年 (63,383千人・時間/年⇒61,154千人・時間/年)</p> <p>対象区間 (岡山市北区吉備津地区) : 改善見込み (旅行速度12.3km/h⇒28.6km/h) 対象区間 (岡山市高松原古才地区) : 改善見込み (旅行速度17.2km/h⇒28.5km/h)</p> <p>岡山駅～稲荷山・芳賀 (山岡地北 (中継バス) の利便性向上が見込まれる)</p> <p>対象駅 : 岡山駅 (新幹線駅)、対象自治体名 : 高梁市、改善見込み : (高梁市役所～岡山駅、83分⇒61分)</p> <p>対象空港 : 岡山空港 (第三種空港)、対象自治体名 : 高梁市、改善見込み : (高梁市役所～岡山空港、81分⇒55分)</p> <p>対象港湾 : 岡山港 (重要港湾)、対象自治体名 : 総社市、改善見込み : (ウイングパレイル～岡山港、65分⇒47分)</p>
都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> □ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の治道まちづくりとの連携あり ■ 中心市街地内で行う事業である □ 路線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である □ D1D区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する □ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上) への連絡道路となる 	岡山環状道路の一部を形成する 総社市中心市街地

1. 活カ	<p>国土・地球ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自動車道（A路線）としての位置づけ有り <input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 環道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 環道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクトを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ接続する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である 	<p>岡山種伏道路</p>
2. 暮らし	<p>歩行者・自転車の方々の生活空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が500人/日以上全ての区間に於いて、自転車利用空間を確保することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通ハリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通ハリアフリー法に基づき重点整備地区における特定道路を形成する区間が新たにハリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線緑地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 	<p>対象自治体名：総社市、日常生活圏中心都市：岡山市、改善見込み：（59分⇒41分） 対象自治体名：総社市、日常生活圏中心都市：岡山市、改善見込み：（88分⇒66分）</p> <p>アクセス向上が期待される観光地：吉備路・備中国分寺 アクセス向上が期待される観光地：総社・宝福寺</p> <p>年間観光客入り込み数：48.1万人/年（125年） 年間観光客入り込み数：21.9万人/年（125年）</p>
3. 安全	<p>安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 環道等に死者発生事故が500件/100台/日以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不備区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/2h以上（当該区間が環状路である場合は500台/2h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が環状路である場合は50人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される 	<p>・500件/100台/日以上である区間・箇所（井原野交差点：532.5件/100台/日 等） ・見込まれる交通量の減少（最大15.100台/日）</p>

3. 安全	<p>災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 近隣へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する無茶を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、郡道沿地帯防犯計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災拠点検又は震災危険要対策箇所もしくは代替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす <p>● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 (推計結果) CO2排出削減量：約11千トン/年（整備なし約2,253千t/年、整備あり約2,241千t/年）</p> <p>● 現道等における自動車からのNO2排出削減率 (推計結果) 削減率：約53%/年、排出削減率：0.7%削減（整備なし：5.597t/年⇒整備あり：5.559t/年）</p> <p>● 現道等における自動車からのSPM排出削減率 (推計結果) 削減率：約2t/年、排出削減率：0.8%削減（整備なし：292t/年⇒整備あり：290t/年）</p> <input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間基準限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される <p>5. その他</p> <p>他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <p>新おかやま夢づくりプラン(H21.9)</p>
4. 環境	<p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p>
5. その他	<p>岡山県の第一次緊急輸送道路に位置付け（国道180号）</p> <p>代替する緊急輸送道路路線名：国道180号</p> <p>代替する区間：岡山市襟津～総社市井原野</p>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
一般国道180号	総社・一宮バイパス	L=15.9km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
14,700~35,300	4	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	507億円	189億円	696億円
うち残事業分	316億円	146億円	462億円
基準年における 現在価値(C)	495億円	59億円	554億円
うち残事業分	228億円	45億円	273億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成42年度			
単年便益 (初年便益)	73億円	10億円	4.9億円	88億円
基準年における 現在価値(B)	1,165億円	159億円	81億円	1,405億円
うち残事業分	1,148億円	160億円	79億円	1,387億円

③ 結果

費用便益比(事業全体)	2.5
経済的純現在価値(事業全体)	851億円
経済的内部収益率(事業全体)	7.6%
費用便益比(残事業)	5.1
経済的純現在価値(残事業)	1,114億円
経済的内部収益率(残事業)	21.8%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析(残事業を対象)

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	14,700~35,300	±10%	2.2~2.9
事業費	507億円	±10%	2.4~2.6
事業期間	49年	±20%	2.3~2.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	14,700~35,300	±10%	4.3~5.8
事業費	316億円	±10%	4.7~5.5
事業期間	7年	±20%	4.7~5.5

様式記入上の留意点

1. 基準年は評価実施年度とする。残事業分は評価実施年度の翌年度以降分を計上。
2. 費用及び便益額は整数止(費用・便益の額によって小数点以下2桁)とする。
3. 費用便益比は小数点以下1桁とする。
4. 単年便益(初年便益)は4月1日供用を前提として算出

交通状況の変化

様式-3①

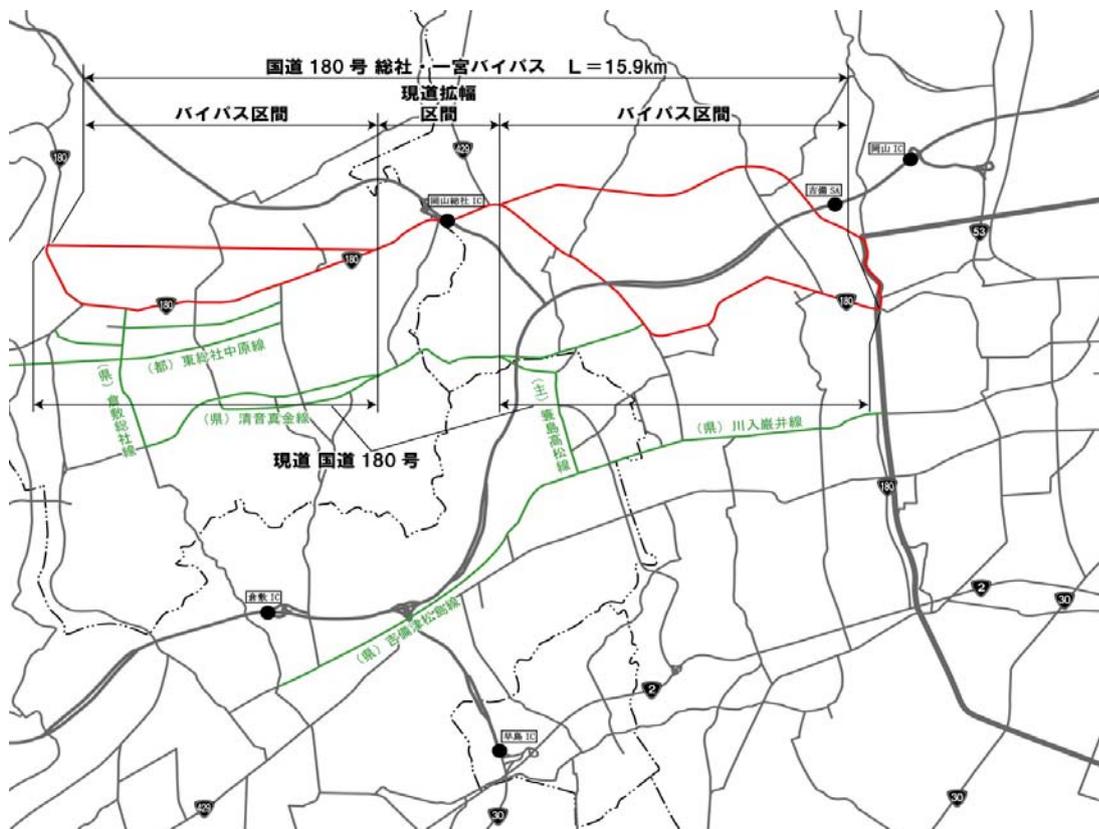
事業名: 総社・一宮バイパス(事業全体)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 15.9km	交通量	[台/日]	12,900	26,700	
	走行時間	[分]	4	17	
	走行時間費用	[億円/年]	8.01	81.39	
②主な周辺道路	国道180号 : 14.1km	交通量	[台/日]	20,400	11,100
		走行時間	[分]	36	31
		走行時間費用	[億円/年]	127.88	58.47
	県)川入 殿井線・ 吉備津松 島線 : 12.2km	交通量	[台/日]	29,600	27,600
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	110.85	98.93
	県)倉敷 総社線・ 総社停車 場線・水 : 14.4km	交通量	[台/日]	9,800	5,800
		走行時間	[分]	28	26
		走行時間費用	[億円/年]	44.83	24.53
	県)清音 真金線・ (市道) : 12.3km	交通量	[台/日]	11,500	7,500
		走行時間	[分]	20	19
		走行時間費用	[億円/年]	39.77	23.47
	県)箕島 高松線・ (市道) : 2.9km	交通量	[台/日]	20,500	16,700
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	20.03	14.57
③その他道路合計 : 1717.5km	走行時間費用	[億円/年]	5,691.13	5,663.23	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計: 1789.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,042.50	5,964.59	77.90

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

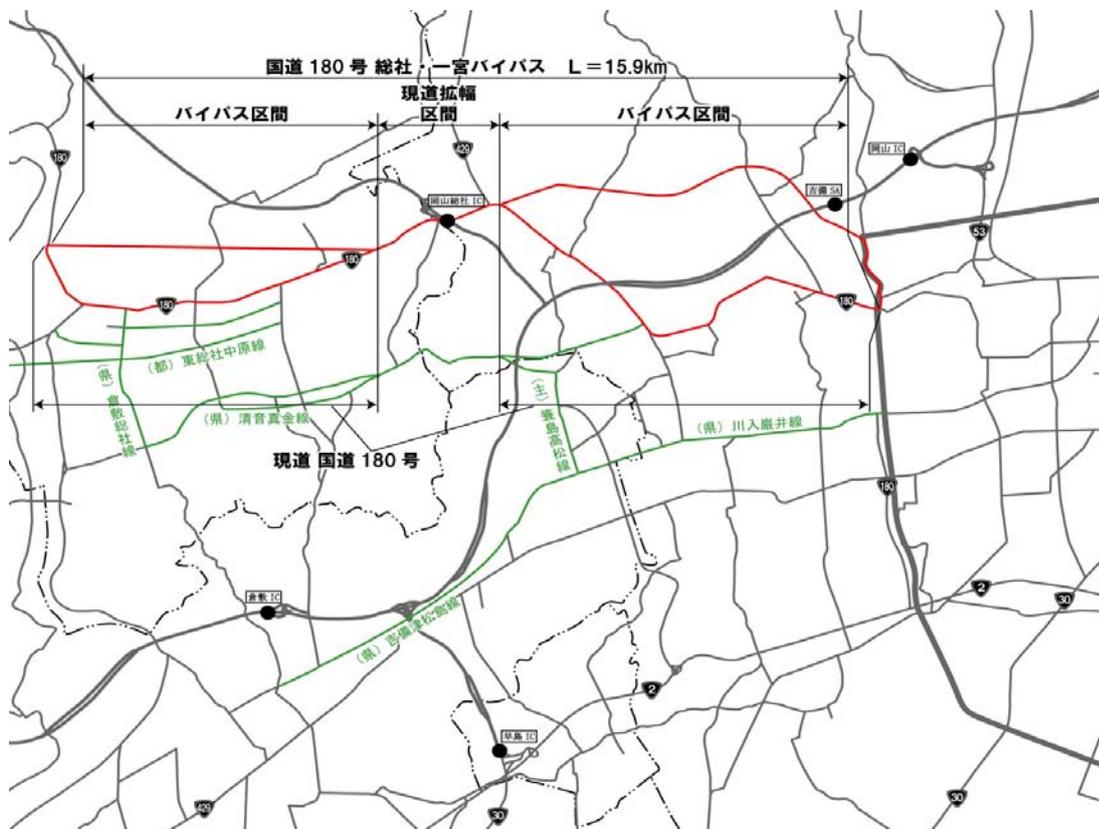
事業名: 総社・一宮バイパス(残事業)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 15.9km	交通量	[台/日]	9,300	26,700	
	走行時間	[分]	5	17	
	走行時間費用	[億円/年]	9.10	81.39	
②主な周辺道路	国道180号 : 14.1km	交通量	[台/日]	20,100	11,100
		走行時間	[分]	35	31
		走行時間費用	[億円/年]	125.85	58.47
	県)川入 殿井線・ 吉備津松 島線 : 12.2km	交通量	[台/日]	29,600	27,600
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	110.76	98.93
	県)倉敷 総社線・ 総社停車場線・水 : 14.4km	交通量	[台/日]	9,800	5,800
		走行時間	[分]	28	26
		走行時間費用	[億円/年]	44.98	24.53
	県)清音 真金線・ (市道) : 12.3km	交通量	[台/日]	11,400	7,500
		走行時間	[分]	20	19
		走行時間費用	[億円/年]	39.19	23.47
	県)箕島 高松線・ (市道) : 2.9km	交通量	[台/日]	20,500	16,700
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	19.94	14.57
③その他道路合計 : 1717.5km	走行時間費用	[億円/年]	5,691.55	5,663.23	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計: 1789.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,041.38	5,964.59	76.79

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: 総社・一宮バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成26年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソトリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他(最終配分交通量とQV式の関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 () 日 採用した冬期日数の考え方を記載		
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
	雪寒費	実績値に基づき維持管理費を算出 積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 総社・一宮バイパス(事業全体)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	採用単価の根拠		一般国道(消費税含まず)	
				単価(億円)	0.27	延長(km)	単純単価(億円)
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-49年目	S48	4.9931	56.1	0.10	0.81		
-48年目	S49	4.8010	66.9	0.10	0.66		
-47年目	S50	4.6164	70.7	0.05	0.30		
-46年目	S51	4.4388	76.7	0.05	0.26		
-45年目	S52	4.2681	81.3	0.05	0.24		
-44年目	S53	4.1039	84.7	0.00	0.00		
-43年目	S54	3.9461	86.9	0.00	0.00		
-42年目	S55	3.7943	92.4	0.00	0.00		
-41年目	S56	3.6484	94.8	0.00	0.00		
-40年目	S57	3.5081	95.8	0.00	0.00		
-39年目	S58	3.3731	96.8	0.00	0.00		
-38年目	S59	3.2434	98.7	0.00	0.00		
-37年目	S60	3.1187	99.5	0.20	0.57		
-36年目	S61	2.9987	101.2	0.20	0.54		
-35年目	S62	2.8834	101.0	0.20	0.52		
-34年目	S63	2.7725	101.5	0.80	2.00		
-33年目	H1	2.6658	104.2	9.98	23.31		
-32年目	H2	2.5633	106.5	11.88	26.11		
-31年目	H3	2.4647	109.1	7.05	14.54		
-30年目	H4	2.3699	110.6	7.61	14.89		
-29年目	H5	2.2788	110.9	6.99	13.11		
-28年目	H6	2.1911	110.8	5.05	9.12		
-27年目	H7	2.1068	109.9	3.37	5.90		
-26年目	H8	2.0258	109.5	2.97	5.02		
-25年目	H9	1.9479	110.4	0.57	0.92		
-24年目	H10	1.8730	109.9	0.48	0.75		
-23年目	H11	1.8009	108.4	2.36	3.58		
-22年目	H12	1.7317	107.2	4.66	6.87		
-21年目	H13	1.6651	105.7	8.94	12.86		
-20年目	H14	1.6010	103.8	4.47	6.29		
-19年目	H15	1.5395	102.3	1.57	2.16		
-18年目	H16	1.4802	101.0	2.60	3.48		
-17年目	H17	1.4233	99.6	0.29	0.38		
-16年目	H18	1.3686	98.7	14.10	17.85		
-15年目	H19	1.3159	97.6	7.72	9.50		
-14年目	H20	1.2653	96.8	1.18	1.41		
-13年目	H21	1.2167	95.6	4.97	5.77		
-12年目	H22	1.1699	93.7	5.19	5.92		
-11年目	H23	1.1249	92.1	7.92	8.83		
-10年目	H24	1.0816	91.3	23.08	24.96		
-9年目	H25	1.0400	91.3	20.07	20.87		
-8年目	H26	1.0000	91.3	23.67	23.67		
-7年目	H27	0.9615	91.3	23.83	22.91		
-6年目	H28	0.9246	91.3	24.65	22.79		
-5年目	H29	0.8890	91.3	25.74	22.88		
-4年目	H30	0.8548	91.3	27.33	23.36		
-3年目	H31	0.8219	91.3	27.46	22.57		
-2年目	H32	0.7903	91.3	27.47	21.71		
-1年目	H33	0.7599	91.3	14.54	11.05		
暫定供用年	H34	0.7307	91.3	0.81	0.59	2.99	2.19
1年目	H35	0.7026	91.3	3.61	2.54	2.99	2.10
2年目	H36	0.6756	91.3	8.35	5.64	2.99	2.02
3年目	H37	0.6496	91.3	17.82	11.58	2.99	1.94
4年目	H38	0.6246	91.3	36.77	22.97	2.99	1.87
5年目	H39	0.6006	91.3	46.25	27.78	2.99	1.80
6年目	H40	0.5775	91.3	20.09	11.60	2.99	1.73
7年目	H41	0.5553	91.3	11.65	6.47	2.99	1.66
供用開始年次	H42	0.5339	91.3			3.92	2.09
9年目	H43	0.5134	91.3			3.92	2.01
10年目	H44	0.4936	91.3			3.92	1.94
11年目	H45	0.4746	91.3			3.92	1.86
12年目	H46	0.4564	91.3			3.92	1.79
13年目	H47	0.4388	91.3			3.92	1.72
14年目	H48	0.4220	91.3			3.92	1.66
15年目	H49	0.4057	91.3			3.92	1.59
16年目	H50	0.3901	91.3			3.92	1.53
17年目	H51	0.3751	91.3			3.92	1.47
18年目	H52	0.3607	91.3			3.92	1.42
19年目	H53	0.3468	91.3			3.92	1.36
20年目	H54	0.3335	91.3			3.92	1.31
21年目	H55	0.3207	91.3			3.92	1.26
22年目	H56	0.3083	91.3			3.92	1.21
23年目	H57	0.2965	91.3			3.92	1.16
24年目	H58	0.2851	91.3			3.92	1.12
25年目	H59	0.2741	91.3			3.92	1.08
26年目	H60	0.2636	91.3			3.92	1.03
27年目	H61	0.2534	91.3			3.92	0.99
28年目	H62	0.2437	91.3			3.92	0.96
29年目	H63	0.2343	91.3			3.92	0.92
30年目	H64	0.2253	91.3			3.92	0.88
31年目	H65	0.2166	91.3			3.92	0.85
32年目	H66	0.2083	91.3			3.92	0.82
33年目	H67	0.2003	91.3			3.92	0.79
34年目	H68	0.1926	91.3			3.92	0.76
35年目	H69	0.1852	91.3			3.92	0.73
36年目	H70	0.1780	91.3			3.92	0.70
37年目	H71	0.1712	91.3			3.92	0.67
38年目	H72	0.1646	91.3			3.92	0.65
39年目	H73	0.1583	91.3			3.92	0.62
40年目	H74	0.1522	91.3			3.92	0.60
41年目	H75	0.1463	91.3			3.92	0.57
42年目	H76	0.1407	91.3			3.92	0.55
43年目	H77	0.1353	91.3			3.92	0.53
44年目	H78	0.1301	91.3			3.92	0.51
45年目	H79	0.1251	91.3			3.92	0.49
46年目	H80	0.1203	91.3			3.92	0.47
47年目	H81	0.1157	91.3			3.92	0.45
48年目	H82	0.1112	91.3			3.92	0.44
49年目	H83	0.1069	91.3	-146.78	-15.70	3.92	0.42
合計				360.08	494.71	188.72	59.28
単純事業費計				506.86		188.72	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 総社・一宮バイパス(残事業)

採用単価の根拠		一般国道(雪寒費含まず)
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.26	12.5	3.31

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-7年目	H27	0.9615	91.3	23.83	22.91		
-6年目	H28	0.9246	91.3	24.65	22.79		
-5年目	H29	0.8890	91.3	25.74	22.88		
-4年目	H30	0.8548	91.3	27.33	23.36		
-3年目	H31	0.8219	91.3	27.46	22.57		
-2年目	H32	0.7903	91.3	27.47	21.71		
-1年目	H33	0.7599	91.3	14.54	11.05		
暫定供用年	H34	0.7307	91.3	0.81	0.59	2.13	1.56
1年目	H35	0.7026	91.3	3.61	2.54	2.13	1.50
2年目	H36	0.6756	91.3	8.35	5.64	2.13	1.44
3年目	H37	0.6496	91.3	17.82	11.58	2.13	1.39
4年目	H38	0.6246	91.3	36.77	22.97	2.13	1.33
5年目	H39	0.6006	91.3	46.25	27.78	2.13	1.28
6年目	H40	0.5775	91.3	20.09	11.60	2.13	1.23
7年目	H41	0.5553	91.3	11.65	6.47	2.13	1.18
供用開始年次	H42	0.5339	91.3			3.07	1.64
9年目	H43	0.5134	91.3			3.07	1.57
10年目	H44	0.4936	91.3			3.07	1.51
11年目	H45	0.4746	91.3			3.07	1.46
12年目	H46	0.4564	91.3			3.07	1.40
13年目	H47	0.4388	91.3			3.07	1.35
14年目	H48	0.4220	91.3			3.07	1.29
15年目	H49	0.4057	91.3			3.07	1.24
16年目	H50	0.3901	91.3			3.07	1.20
17年目	H51	0.3751	91.3			3.07	1.15
18年目	H52	0.3607	91.3			3.07	1.11
19年目	H53	0.3468	91.3			3.07	1.06
20年目	H54	0.3335	91.3			3.07	1.02
21年目	H55	0.3207	91.3			3.07	0.98
22年目	H56	0.3083	91.3			3.07	0.95
23年目	H57	0.2965	91.3			3.07	0.91
24年目	H58	0.2851	91.3			3.07	0.87
25年目	H59	0.2741	91.3			3.07	0.84
26年目	H60	0.2636	91.3			3.07	0.81
27年目	H61	0.2534	91.3			3.07	0.78
28年目	H62	0.2437	91.3			3.07	0.75
29年目	H63	0.2343	91.3			3.07	0.72
30年目	H64	0.2253	91.3			3.07	0.69
31年目	H65	0.2166	91.3			3.07	0.66
32年目	H66	0.2083	91.3			3.07	0.64
33年目	H67	0.2003	91.3			3.07	0.61
34年目	H68	0.1926	91.3			3.07	0.59
35年目	H69	0.1852	91.3			3.07	0.57
36年目	H70	0.1780	91.3			3.07	0.55
37年目	H71	0.1712	91.3			3.07	0.53
38年目	H72	0.1646	91.3			3.07	0.50
39年目	H73	0.1583	91.3			3.07	0.49
40年目	H74	0.1522	91.3			3.07	0.47
41年目	H75	0.1463	91.3			3.07	0.45
42年目	H76	0.1407	91.3			3.07	0.43
43年目	H77	0.1353	91.3			3.07	0.41
44年目	H78	0.1301	91.3			3.07	0.40
45年目	H79	0.1251	91.3			3.07	0.38
46年目	H80	0.1203	91.3			3.07	0.37
47年目	H81	0.1157	91.3			3.07	0.35
48年目	H82	0.1112	91.3			3.07	0.34
49年目	H83	0.1069	91.3	-81.39	-8.70	3.07	0.33
合計				234.98	227.73	145.87	45.29
単純事業費計				316.37		145.87	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名: 総社・一宮ハイパス(事業全体)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽7ルート)			GDP テラワタ (B)	走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)			事故減少便益(億円)			合計 (億円)				
		乗用車類	小型貨物	普通貨物		乗用車類	小型貨物	普通貨物	乗用車類	小型貨物	普通貨物	③	②(A)*(B)	②(A)*(B)		③(A)*(B)			
暫定供用年	H26	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.7307	48.67	13.00	10.88	72.55	53.01	7.30	1.18	1.77	4.90	3.58	87.71	64.09	
1年目	H35	0.99713	0.99409	1.01552	0.99988	0.7026	48.53	12.92	11.04	72.50	50.94	7.28	1.17	1.80	4.90	3.44	87.65	61.59	
2年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6756	48.39	12.85	11.21	72.45	49.95	7.26	1.16	1.83	4.90	3.18	87.60	59.18	
3年目	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6496	48.25	12.77	11.38	72.40	47.03	7.24	1.16	1.85	4.90	3.18	87.55	56.87	
4年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.6246	48.11	12.69	11.54	72.35	45.19	7.22	1.15	1.88	4.90	3.06	87.50	54.65	
5年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.6006	47.97	12.62	11.71	72.30	43.42	7.20	1.14	1.91	4.90	2.94	87.45	52.52	
6年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5775	47.83	12.54	11.88	72.25	41.72	7.18	1.14	1.93	4.90	2.83	87.40	50.47	
7年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5553	47.69	12.46	12.04	72.20	40.09	7.16	1.13	1.96	4.90	2.72	87.35	48.50	
供用開始年次	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5339	50.94	13.46	13.51	77.90	41.59	7.20	1.16	2.07	5.45	2.91	93.79	50.07	
9年目	H43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.5134	50.55	13.36	13.52	77.44	39.75	7.15	1.15	2.07	5.42	2.78	93.23	47.86	
10年目	H44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4936	50.16	13.27	13.54	76.97	37.99	7.09	1.15	2.07	5.39	2.66	92.66	45.74	
11年目	H45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4746	49.77	13.18	13.55	76.50	36.31	7.04	1.14	2.07	5.36	2.54	92.10	43.72	
12年目	H46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.4564	49.38	13.08	13.57	76.03	34.70	6.98	1.13	2.08	5.33	2.43	91.54	41.78	
13年目	H47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.4388	48.99	12.99	13.58	75.56	33.16	6.93	1.12	2.08	5.32	2.32	90.98	39.93	
14年目	H48	0.99205	0.99282	1.00116	0.99406	0.4220	48.59	12.90	13.60	75.09	31.69	6.87	1.11	2.08	5.26	2.22	90.42	38.15	
15年目	H49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.4057	48.20	12.80	13.62	74.62	30.28	6.81	1.11	2.08	5.23	2.12	89.86	36.46	
16年目	H50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3901	47.81	12.71	13.63	74.15	28.93	6.76	1.10	2.09	5.20	2.03	89.30	34.84	
17年目	H51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3751	47.42	12.62	13.65	73.68	27.64	6.70	1.09	2.09	5.17	1.94	88.74	33.29	
18年目	H52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3607	47.03	12.52	13.66	73.22	26.41	6.65	1.08	2.09	5.14	1.85	88.17	31.80	
19年目	H53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.3468	46.64	12.43	13.68	72.75	25.23	6.59	1.07	2.09	5.11	1.77	87.61	30.39	
20年目	H54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.3335	46.25	12.34	13.69	72.28	24.10	6.54	1.06	2.09	5.08	1.69	87.05	29.03	
21年目	H55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.3207	45.86	12.24	13.71	71.81	23.03	6.48	1.06	2.10	5.04	1.62	86.49	27.73	
22年目	H56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.3083	45.46	12.15	13.73	71.34	22.00	6.43	1.05	2.10	5.01	1.55	85.93	26.49	
23年目	H57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2965	45.07	12.06	13.74	70.87	21.01	6.37	1.04	2.10	4.98	1.48	85.37	25.31	
24年目	H58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2851	44.68	11.96	13.76	70.40	20.07	6.32	1.03	2.10	4.95	1.41	84.81	24.17	
25年目	H59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2741	44.29	11.87	13.77	69.93	19.17	6.26	1.02	2.11	4.92	1.35	84.25	23.09	
26年目	H60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2636	43.90	11.78	13.79	69.47	18.31	6.21	1.02	2.11	4.89	1.29	83.68	22.06	
27年目	H61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2534	43.51	11.68	13.80	69.00	17.48	6.15	1.01	2.11	4.86	1.23	83.12	21.06	
28年目	H62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2437	43.12	11.59	13.82	68.53	16.70	6.10	1.00	2.11	4.82	1.18	82.56	20.12	
29年目	H63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2343	42.72	11.50	13.84	68.06	15.95	6.04	0.99	2.12	4.79	1.12	82.00	19.21	
30年目	H64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.2253	42.33	11.40	13.85	67.59	15.23	5.98	0.98	2.12	4.76	1.07	81.44	18.35	
31年目	H65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.2166	41.94	11.31	13.87	67.12	14.54	5.93	0.98	2.12	4.73	1.02	80.88	17.52	
32年目	H66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.2083	41.55	11.22	13.88	66.65	13.88	5.87	0.97	2.12	4.70	0.98	80.32	16.73	
33年目	H67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.2003	41.16	11.13	13.90	66.18	13.25	5.82	0.96	2.13	4.67	0.93	79.75	15.97	
34年目	H68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1926	40.77	11.03	13.92	65.71	12.65	5.76	0.95	2.13	4.64	0.89	79.19	15.25	
35年目	H69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1852	40.38	10.94	13.93	65.25	12.08	5.71	0.94	2.13	4.60	0.85	78.63	14.56	
36年目	H70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1780	39.98	10.85	13.95	64.78	11.53	5.65	0.94	2.13	4.57	0.81	78.07	13.90	
37年目	H71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1712	39.59	10.75	13.96	64.31	11.01	5.60	0.93	2.14	4.54	0.78	77.51	13.27	
38年目	H72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1646	39.20	10.66	13.98	63.84	10.51	5.54	0.92	2.14	4.51	0.74	76.95	12.67	
39年目	H73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1583	38.81	10.57	13.99	63.37	10.03	5.49	0.91	2.14	4.48	0.71	76.39	12.09	
40年目	H74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1522	38.42	10.47	14.01	62.90	9.57	5.43	0.90	2.14	4.45	0.68	75.83	11.54	
41年目	H75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1463	38.03	10.38	14.03	62.43	9.14	5.38	0.90	2.15	4.42	0.65	75.26	11.01	
42年目	H76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1407	37.64	10.29	14.04	61.96	8.72	5.32	0.89	2.15	4.38	0.62	74.70	10.51	
43年目	H77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1353	37.24	10.19	14.06	61.49	8.32	5.27	0.88	2.15	4.35	0.59	74.14	10.03	
44年目	H78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1301	36.85	10.10	14.07	61.03	7.94	5.21	0.87	2.15	4.32	0.56	73.58	9.57	
45年目	H79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1251	36.46	10.01	14.09	60.56	7.58	5.15	0.86	2.15	4.29	0.54	73.02	9.13	
46年目	H80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1203	36.07	9.91	14.10	60.09	7.23	5.10	0.86	2.16	4.26	0.51	72.46	8.72	
47年目	H81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.1157	35.68	9.82	14.12	59.62	6.90	5.04	0.85	2.16	4.23	0.49	71.90	8.32	
48年目	H82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	0.1112	35.29	9.73	14.14	59.15	6.58	4.99	0.84	2.16	4.19	0.47	71.33	7.93	
49年目	H83	0.98891	0.99042	1.00111	0.99250	0.1069	34.90	9.63	14.15	58.68	6.27	4.93	0.83	2.16	4.16	0.45	70.77	7.57	
合計							2188.09	586.73	672.49	3447.30	1164.80	312.69	51.07	103.76	241.16	467.53	159.10	4153.98	1404.81

便益の現在価値算定表

箇所名: 総社・一宮ハイパス(残事業)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽7ルート)			割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	①*(A)*(B)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	②*(A)*(B)		③
暫定供用年	H34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.7307	91.3	47.96	12.82	10.66	71.43	52.20	7.37	1.78	7.55	4.75	3.47	86.52	63.22
1年目	H35	0.99713	0.99409	1.01552	0.99988	0.7026	91.3	47.82	12.75	10.82	71.38	50.15	7.35	1.80	7.55	4.75	3.34	86.47	60.75
2年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6756	91.3	47.68	12.67	10.98	71.33	48.19	7.33	1.83	7.55	4.75	3.21	86.42	58.38
3年目	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6486	91.3	47.54	12.59	11.15	71.28	46.30	7.31	1.86	7.55	4.75	3.09	86.37	56.10
4年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.6216	91.3	47.41	12.52	11.31	71.23	44.49	7.28	1.88	7.55	4.75	2.97	86.32	53.91
5年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.6006	91.3	47.27	12.44	11.47	71.18	42.75	7.26	1.91	7.55	4.75	2.85	86.26	51.81
6年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5775	91.3	47.13	12.37	11.64	71.13	41.08	7.24	1.94	7.55	4.75	2.74	86.21	49.79
7年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5553	91.3	46.99	12.29	11.80	71.08	39.47	7.22	1.97	7.55	4.75	2.64	86.16	47.84
供用開始年次	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5339	91.3	50.24	13.29	13.26	76.79	41.00	7.26	2.07	10.51	5.61	2.83	92.60	49.44
9年目	H43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.5134	91.3	48.86	13.19	13.27	76.32	39.18	7.21	2.17	10.45	5.36	2.71	92.05	47.25
10年目	H44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4936	91.3	48.47	13.10	13.29	75.86	37.45	7.15	2.08	10.39	5.13	2.59	91.49	45.16
11年目	H45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4746	91.3	48.08	13.01	13.30	75.40	35.79	7.10	2.08	10.32	4.90	2.48	90.94	43.16
12年目	H46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.4564	91.3	48.70	12.92	13.32	74.94	34.20	7.04	2.08	10.26	4.68	2.37	90.38	41.25
13年目	H47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.4388	91.3	48.31	12.83	13.33	74.47	32.68	6.98	2.08	10.20	4.48	2.26	89.83	39.42
14年目	H48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.4220	91.3	47.93	12.73	13.35	74.01	31.23	6.93	2.09	10.14	4.28	2.16	89.27	37.67
15年目	H49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.4057	91.3	47.54	12.64	13.37	73.55	29.84	6.87	2.09	10.08	4.09	2.07	88.72	36.00
16年目	H50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3901	91.3	47.15	12.55	13.38	73.09	28.51	6.82	2.11	10.02	3.91	2.00	88.16	34.39
17年目	H51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3751	91.3	46.77	12.46	13.40	72.62	27.24	6.76	2.09	9.96	3.73	1.89	87.61	32.86
18年目	H52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3607	91.3	46.38	12.37	13.41	72.16	26.03	6.71	2.09	9.89	3.57	1.80	87.05	31.40
19年目	H53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.3468	91.3	46.00	12.27	13.43	71.70	24.87	6.65	2.10	9.83	3.41	1.72	86.50	30.00
20年目	H54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.3335	91.3	45.61	12.18	13.44	71.23	23.76	6.59	2.10	9.77	3.26	1.65	85.95	28.66
21年目	H55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.3207	91.3	45.23	12.09	13.46	70.77	22.69	6.54	2.10	9.71	3.11	1.57	85.39	27.38
22年目	H56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.3083	91.3	44.84	12.00	13.47	70.31	21.68	6.48	2.11	9.65	2.97	1.48	84.84	26.16
23年目	H57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2965	91.3	44.45	11.91	13.49	69.85	20.71	6.43	2.11	9.59	2.84	1.44	84.28	24.99
24年目	H58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2851	91.3	44.07	11.81	13.50	69.38	19.78	6.37	2.11	9.53	2.72	1.37	83.73	23.87
25年目	H59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2741	91.3	43.68	11.72	13.52	68.92	18.89	6.32	2.11	9.46	2.59	1.31	83.17	22.80
26年目	H60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2636	91.3	43.29	11.63	13.54	68.46	18.04	6.26	2.11	9.40	2.48	1.25	82.62	21.77
27年目	H61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2534	91.3	42.91	11.54	13.55	68.00	17.23	6.20	2.12	9.34	2.37	1.20	82.06	20.80
28年目	H62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2437	91.3	42.52	11.44	13.57	67.53	16.46	6.15	2.12	9.28	2.26	1.14	81.51	19.86
29年目	H63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2343	91.3	42.14	11.35	13.58	67.07	15.71	6.09	2.12	9.22	2.16	1.09	80.95	18.97
30年目	H64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.2253	91.3	41.75	11.26	13.60	66.61	15.01	6.04	2.12	9.16	2.06	1.04	80.40	18.11
31年目	H65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.2166	91.3	41.36	11.17	13.61	66.15	14.33	5.98	2.13	9.09	1.97	1.00	79.84	17.30
32年目	H66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.2083	91.3	40.98	11.08	13.63	65.68	13.68	5.92	2.13	9.03	1.88	0.95	79.29	16.51
33年目	H67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.2003	91.3	40.59	10.98	13.64	65.22	13.06	5.87	2.13	8.97	1.80	0.91	78.73	15.77
34年目	H68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1926	91.3	40.21	10.89	13.66	64.76	12.47	5.81	2.13	8.91	1.72	0.87	78.18	15.06
35年目	H69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1852	91.3	39.82	10.80	13.67	64.30	11.91	5.76	2.14	8.85	1.64	0.83	77.62	14.37
36年目	H70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1780	91.3	39.43	10.71	13.69	63.83	11.37	5.70	2.14	8.79	1.56	0.80	77.07	13.72
37年目	H71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1712	91.3	39.05	10.62	13.71	63.37	10.85	5.65	2.14	8.73	1.49	0.76	76.51	13.10
38年目	H72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1646	91.3	38.66	10.52	13.72	62.91	10.36	5.59	2.14	8.66	1.43	0.72	75.96	12.50
39年目	H73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1583	91.3	38.28	10.43	13.74	62.45	9.88	5.53	2.15	8.60	1.36	0.69	75.40	11.94
40年目	H74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1522	91.3	37.89	10.34	13.75	61.98	9.43	5.48	2.15	8.54	1.30	0.66	74.85	11.39
41年目	H75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1463	91.3	37.50	10.25	13.77	61.52	9.00	5.42	2.15	8.48	1.24	0.63	74.29	10.87
42年目	H76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1407	91.3	37.12	10.16	13.78	61.06	8.59	5.37	2.15	8.42	1.18	0.60	73.74	10.38
43年目	H77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1353	91.3	36.73	10.06	13.80	60.59	8.20	5.31	2.16	8.36	1.13	0.57	73.19	9.90
44年目	H78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1301	91.3	36.35	9.97	13.81	60.13	7.82	5.25	2.16	8.29	1.08	0.55	72.63	9.45
45年目	H79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99272	0.1251	91.3	35.96	9.88	13.83	59.67	7.46	5.20	2.16	8.23	1.03	0.52	72.08	9.02
46年目	H80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1203	91.3	35.57	9.79	13.84	59.21	7.12	5.14	2.16	8.17	0.98	0.50	71.52	8.60
47年目	H81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.1157	91.3	35.19	9.70	13.86	58.74	6.79	5.09	2.16	8.11	0.94	0.48	70.97	8.21
48年目	H82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	0.1112	91.3	34.80	9.60	13.88	58.28	6.48	5.03	2.17	8.05	0.90	0.45	70.41	7.83
49年目	H83	0.98891	0.99042	1.00111	0.99250	0.1069	91.3	34.42	9.51	13.89	57.82	6.18	4.98	2.17	7.99	0.85	0.43	69.86	7.47
合計								2157.62	579.21	659.93	3396.77	1147.59	315.39	51.66	104.02	471.07	160.32	4102.38	1386.57

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道180号	総社・一宮バイパス	4/4	15.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	30,309	
	改良費		式	1	8,186	
		土工	m ³	1,718,000	2,982	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³	152,400	914	
		法面工	m ²	171,400	186	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	224	重力式擁壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁、L型擁壁
		管渠工	m	2,253	81	
		函渠工	m	1,640	622	
		排水工	m	48,996	980	
		中央分離帯工	m	24,498	659	
	雑工	式	1	1,538	埋蔵文化財調査(外業)、工事用道路等	
	橋梁費		式	1	8,958	
		100m以上	m	1,965	5,474	PC橋(10橋)
		100m未満	m	1,094	3,484	PC橋(18橋)、ME橋(8橋)、OV橋(3橋)
	トンネル費		式	1	9,798	
		NATM	m	3,754	9,798	6本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		式	1	0	
		IC	箇所	0	0	
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費		式	1	3,078	
		車道舗装	m ²	278,700	2,958	
		歩道舗装	m ²	59,900	120	
附帯施設費		式	1	289		
	交通管理施設工	式	1	289	標識工、防護柵工、道路照明工、等	
	遮音壁	m	0	0		
②用地及び補償費		式	1	17,432		
	用地費		式	1	14,678	
		宅地	m ²	45,223	2,035	
		田畑	m ²	421,030	11,368	
		山林・原野	m ²	127,549	1,275	
補償費	式	1	2,754			
③間接経費		式	1	5,259	地質調査、測量、設計、文化財調査(内業)にかかる費用及び予備費 等	
全体事業費				53,000		

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道180号	総社・一宮バイパス	4/4	12.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	21,853	
	改良費		式	1	3,941	
		土工	m ³	1,245,000	1,644	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³	22,000	132	
		法面工	m ²	102,600	139	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	111	重力式擁壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁、L型擁壁
		管渠工	m	1,188	43	
		函渠工	m	865	328	
		排水工	m	27,812	556	
		中央分離帯工	m	17,658	475	
	雑工	式	1	513	埋蔵文化財調査(外業)、工事用道路、技術補助等	
	橋梁費		式	1	5,417	
		100m以上	m	1,069	2,978	PC橋(8橋)
		100m未満	m	766	2,439	PC橋(15橋)、ME橋(8橋)、OV橋(2橋)
	トンネル費		式	1	9,798	
		NATM	m	3,754	9,798	6本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		式	1	0	
		IC	箇所	0	0	
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費		式	1	2,475	
		車道舗装	m ²	216,600	2,399	
		歩道舗装	m ²	38,250	76	
附帯施設費		式	1	222		
	交通管理施設工	式	1	222	標識工、防護柵工、道路照明工、等	
	遮音壁	m	0	0		
②用地及び補償費		式	1	9,150		
	用地費		式	1	8,138	
		宅地	m ²	32,570	1,466	
		田畑	m ²	205,902	5,559	
		山林・原野	m ²	111,270	1,113	
補償費	式	1	1,012			
③間接経費		式	1	2,435	地質調査、測量、設計、文化財調査(内業)にかかる費用及び予備費 等	
全体事業費				33,438		

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道180号	総社・一宮バイパス	4	15.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
維持費	km	15.9	2,520	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	17,863	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			20,383	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道180号	総社・一宮バイパス	4	12.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
維持費	km	12.5	2,006	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	13,748	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			15,754	

一般国道180号 総社・一宮バイパス
〔岡山県への意見照会と回答〕



国中整企画第36号
国中整港計第18号
平成26年10月3日

岡山県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について (ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通
省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に
基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その
効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委
員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針
(原案)について審議しております。

このたび、平成26年10月27日(月)に委員会を開催するこ
ととなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原
案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼い
たします。

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 倉敷立体	継続	
一般国道180号 総社・一宮バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成26年10月17日(金)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 加田

施策分析評価係長 森浦

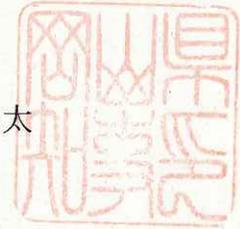
TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

技 第 1 9 4 号
平成 2 6 年 1 0 月 1 4 日

中国地方整備局長 殿

岡山県知事 伊原木 隆太



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

平成 2 6 年 1 0 月 3 日付、国中整企画第 3 6 号及び国中整港計第 1 8 号で照会のあつた下記事業についての意見は別紙のとおりです。

記

1. 一般国道 2 号 倉敷立体事業
2. 一般国道 1 8 0 号 総社・一宮バイパス事業



(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	道路建設課
事業名	一般国道180号 総社・一宮バイパス	
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	<input checked="" type="radio"/> 妥当である ・ <input type="radio"/> 妥当でない	
(意見) 一般国道180号の交通渋滞の緩和が図られるとともに、事故の減少や安全な歩行空間の形成、高速ICアクセス改善による物流支援等にも資する道路であることから、本事業の早期完成が必要である。		

※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。

※2 具体的な意見がある場合は、(意見)欄に記載をして下さい。

特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、(意見)欄にその理由を必ず記載して下さい。

※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにして下さい。

一般国道180号 総社・一宮バイパス
〔岡山市への意見照会と回答〕



国中整企画第36号
国中整港計第18号
平成26年10月3日

岡山市長 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通
省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に
基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その
効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委
員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針
(原案)について審議しております。

このたび、平成26年10月27日(月)に委員会を開催するこ
ととなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原
案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼い
たします。

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道180号 総社-一宮バイパス	継続	

※貴市の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成26年10月17日(金)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 加田

施策分析評価係長 森浦

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

岡道計第 112号
平成26年10月17日

中国地方整備局長 様

岡山市長 大 森 雅 夫



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

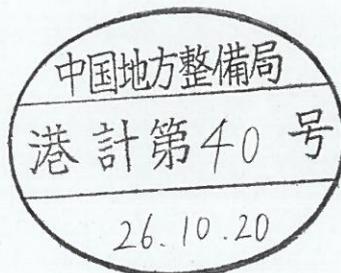
貴職におかれましては、平素より岡山市の土木行政に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年10月3日付け国中整企画第36号、国中整港計第18号で照会のありました「一般国道180号 総社・一宮バイパス」の再評価に係る対応方針（原案）に対する意見について、下記の通り回答します。

記

1 意見 異議ありません。

なお、一般国道180号 総社・一宮バイパスは、広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。特に、岡山市北区榑津から山陽自動車道接続までの区間について、事業促進による早期供用を要望します。



<問い合わせ先>

岡山市都市整備局道路計画課
審議監 市川 浩

TEL 086-803-1695
FAX 086-803-1727